



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月1日 東

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024 (545) 2215
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月2日 配当支払開始予定日 平成26年10月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年2月21日～平成26年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	21,057	3.1	867	22.1	894	26.3	520	△5.1
26年2月期第2四半期	20,419	4.3	710	3.0	708	4.8	548	27.3

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 538百万円(△1.9%) 26年2月期第2四半期 548百万円(29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	67.26	67.18
26年2月期第2四半期	70.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	28,581	6,122	21.3
26年2月期	27,850	5,647	20.2

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 6,090百万円 26年2月期 5,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—	10.00			
27年2月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年2月21日～平成27年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.8	1,050	2.9	1,050	3.0	600	△26.7	77.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	7,734,000株	26年2月期	7,734,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	117株	26年2月期	117株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	7,733,883株	26年2月期2Q	7,733,883株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年2月21日～平成26年8月20日)におけるわが国の経済は、政府による経済政策、日銀による金融緩和が功を奏し、堅調な企業収益を背景に総体的に緩やかな回復基調が見られました。個人消費については、4月の消費増税前の駆け込み需要により高く伸長いたしました。4月以降は消費増税後の反動減による客数の減少が常態化しており、尚且つ、夏以降の消費本格回復の動きも鈍く厳しい経営環境が続いている状況であります。また、円安に起因する原材料等の調達コスト増、新興国を中心とした景気減速による輸出の減少等、国内景気の減速懸念感もあり、先行き不透明感を払拭しきれない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当第2四半期連結累計期間におきまして、新規出店として、ホームセンター「ダイユーエイト」は3月に新庄西店(山形県)を開設いたしました。ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は山形北店(開店4月 山形県)、酒田店(開店5月 山形県)の計2店舗を開設いたしました。また自転車専門店「One's cycle」は福島県郡山市に1店舗開設いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、94店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ(当社および連結子会社)の連結売上高は210億5千7百万円(前年同期比3.1%増)、連結営業利益は8億6千7百万円(同22.1%増)、連結経常利益は8億9千4百万円(同26.3%増)、連結四半期純利益は5億2千万円(同5.1%減)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客単価は6.1%増加しましたが、客数が前年同期比で6.4%減少したことにより、既存店売上高は0.7%減少いたしました。

セグメント売上高につきまして既存店ベースでの商品別販売動向は、消費増税前の駆け込み需要により、カーポート、物置等のエクステリア関連商品、インテリア、収納用品、石油暖房、白物家電等の家電製品、用土、肥料等の園芸用品の売上が好調に推移するとともに、日用品、ペット用品等の消耗品のまとめ買いもあった影響で、前年同期比で大きく売上高が伸長いたしました。4月1日以降はホームセンター事業の強化部門である植物、園芸用品、ガーデニング用品、木材塗料、工具金物等のホームニーズ商品が売上高を牽引しましたが、駆け込み需要の反動減に伴い、家電製品、収納用品、日用品等の売上高が前年同期比で減少いたしました。夏場に入ってから猛暑日が連日続いたこともあって、扇風機等の家電製品、レジャー関連商品等の夏物季節商品の売上が好調に推移いたしました。

セグメント利益につきましては、主力部門である植物、園芸用品、ガーデニング用品等のホームニーズ商品を中心に商品の「差異化」を推進し、従来の商品と併せて、高付加価値商材を積極的に投入し、お客様の暮らしに「新たな価値」を創造できる品揃えの実現および価値の訴求に重点的に取り組んで参りました。その結果、ホームニーズ商品の売上構成比が増加し、商品荒利益率は既存ベースで前年同期比0.4%改善いたしました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は170億2千万円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は12億5千7百万円(同9.3%増)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業における売上高は3億9千4百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1億6千2百万円(同5.5%増)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第2四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

〔その他〕

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業および「One's cycle」を展開する自転車専門店事業により41億7千万円(前年同期比6.0%増)、セグメント損失(営業損失)は2千2百万円(前年同期はセグメント損失6千9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億3千1百万円増加し、285億8千1百万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴うたな卸資産の増加、建物及び構築物の増加等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億5千6百万円増加し、224億5千8百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務の増加、短期借入金の減少、未払法人税等の増加、役員退職慰労金制度の廃止に伴う役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億7千5百万円増加し、61億2千2百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億6千2百万円減少し、9億4千6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は11億3千7百万円(前年同期は6億8千7百万円の資金の獲得)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益8億8千7百万円、減価償却費5億円、仕入債務の増加6億7千3百万円、損害賠償金による収入1億7百万円等により資金が得られましたが、売上債権の増加8千8百万円、たな卸資産の増加3億9千9百万円、法人税等の支払額1億1千6百万円等により資金が使用されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は6億8百万円(前年同期は16億3千6百万円の資金の使用)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億1千1百万円、敷金及び保証金の差入による支出3億6千5百万円等により資金が使用されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は9億9千万円(前年同期は3億8千7百万円の資金の獲得)となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入13億5千万円により資金が得られた一方、短期借入金の減少8億5千万円、長期借入金の返済による支出12億8百万円、リース債務の返済による支出1億4千9百万円等により資金が使用されたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月2日付「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに備えるため、会社内規に基づく必要額を計上しておりましたが、平成26年5月16日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給が決議されました。これにより役員退職慰労引当金を全額取り崩し、功労加算金部分を合算して401,058千円を固定負債の「その他」に振替えております。

なお、当該功労加算金部分は88,181千円であり、特別損失の「役員退職慰労金」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,656,509	1,201,778
売掛金	324,909	413,332
有価証券	4,584	4,832
たな卸資産	7,442,940	7,842,878
その他	507,812	491,651
流動資産合計	9,936,756	9,954,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,801,080	17,279,143
減価償却累計額	△8,246,390	△8,549,801
建物及び構築物(純額)	8,554,689	8,729,341
土地	1,926,347	1,926,347
リース資産	1,355,887	1,472,050
減価償却累計額	△643,427	△775,581
リース資産(純額)	712,459	696,469
その他	1,018,789	1,395,921
減価償却累計額	△342,006	△370,679
その他(純額)	676,782	1,025,241
有形固定資産合計	11,870,280	12,377,399
無形固定資産		
のれん	570	285
その他	1,244,494	1,266,595
無形固定資産合計	1,245,064	1,266,880
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,975,554	3,072,641
その他	1,841,335	1,929,086
貸倒引当金	△18,990	△18,990
投資その他の資産合計	4,797,899	4,982,737
固定資産合計	17,913,244	18,627,017
資産合計	27,850,000	28,581,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,196,307	5,097,984
電子記録債務	660,676	1,432,520
短期借入金	2,750,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,392,451	2,445,479
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	306,782	269,795
未払法人税等	134,518	433,927
その他	2,300,077	2,275,903
流動負債合計	13,850,813	13,965,611
固定負債		
社債	105,000	50,000
長期借入金	5,766,294	5,854,336
リース債務	524,618	557,072
退職給付引当金	237,897	254,444
役員退職慰労引当金	309,368	-
長期預り保証金	1,102,565	1,073,027
資産除去債務	152,701	158,668
その他	153,043	545,601
固定負債合計	8,351,489	8,493,151
負債合計	22,202,303	22,458,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,173	1,303,173
資本剰余金	1,224,682	1,224,682
利益剰余金	3,013,713	3,456,604
自己株式	△74	△74
株主資本合計	5,541,493	5,984,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,880	106,441
繰延ヘッジ損益	△1,181	△725
その他の包括利益累計額合計	91,699	105,716
新株予約権	-	14,119
少数株主持分	14,503	18,507
純資産合計	5,647,697	6,122,729
負債純資産合計	27,850,000	28,581,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
売上高	20,419,355	21,057,266
売上原価	14,520,050	14,760,599
売上総利益	5,899,304	6,296,666
販売費及び一般管理費	5,188,965	5,429,307
営業利益	710,338	867,359
営業外収益		
受取利息	7,348	10,709
受取配当金	4,813	5,948
受取手数料	65,472	82,651
その他	41,631	40,213
営業外収益合計	119,265	139,523
営業外費用		
支払利息	75,954	73,268
借入手数料	27,331	27,807
その他	18,222	11,270
営業外費用合計	121,508	112,345
経常利益	708,096	894,536
特別利益		
受取損害賠償金	75,854	75,757
その他	6,634	7,079
特別利益合計	82,488	82,836
特別損失		
固定資産除却損	4,737	1,297
役員退職慰労金	-	88,181
特別損失合計	4,737	89,479
税金等調整前四半期純利益	785,848	887,893
法人税、住民税及び事業税	224,220	416,710
法人税等調整額	7,992	△53,051
法人税等合計	232,213	363,659
少数株主損益調整前四半期純利益	553,634	524,234
少数株主利益	5,313	4,004
四半期純利益	548,321	520,230

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	553,634	524,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,523	13,560
繰延ヘッジ損益	705	455
その他の包括利益合計	△4,817	14,016
四半期包括利益	548,817	538,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543,503	534,246
少数株主に係る四半期包括利益	5,313	4,004

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	785,848	887,893
減価償却費	445,992	500,424
のれん償却額	35,285	285
株式報酬費用	-	14,119
受取損害賠償金	△75,854	△75,757
支払利息	75,954	73,268
受取利息及び受取配当金	△12,161	△16,657
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,535	△88,422
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△475,427	△399,938
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,923	673,522
その他	162,977	△298,218
小計	865,001	1,270,517
利息及び配当金の受取額	4,906	6,069
利息の支払額	△70,705	△68,804
保険金の受取額	6,184	5,554
損害賠償金による収入	145,809	107,828
補助金の受取額	74,293	-
法人税等の支払額	△313,095	△116,989
その他の支出	△24,505	△66,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	687,887	1,137,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△276,528	-
有形固定資産の取得による支出	△1,110,000	△211,417
有形固定資産の除却による支出	△3,540	△1,297
敷金及び保証金の差入による支出	△199,209	△365,443
敷金及び保証金の回収による収入	49,345	76,137
預り保証金の返還による支出	△58,078	△30,912
預り保証金の受入による収入	17,942	2,900
その他	△56,839	△78,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,636,907	△608,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△174,000	△850,000
長期借入れによる収入	2,000,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,189,626	△1,208,930
リース債務の返済による支出	△117,180	△149,729
社債の償還による支出	△55,000	△55,000
配当金の支払額	△76,763	△77,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	387,430	△990,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△561,590	△462,347
現金及び現金同等物の期首残高	1,525,764	1,408,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	964,173	946,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,846,913	380,807	17,227,720	3,191,634	20,419,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,040	2,040	743,063	745,103
計	16,846,913	382,847	17,229,760	3,934,698	21,164,458
セグメント利益	1,150,382	153,833	1,304,216	△69,261	1,234,955

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,304,216
「その他」の区分の利益	△69,261
セグメント間取引消去	△5,134
全社費用(注)	△519,482
四半期連結損益計算書の営業利益	710,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、従来、「その他」の区分に含めておりました「リフォーム事業」を「ホームセンター事業」の区分に含めております。これは、平成25年8月26日付で当社が「リフォーム事業」を営む連結子会社であった株式会社ダイユーエイト・ホームサービスの事業の全部を譲り受けたことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,020,769	394,257	17,415,027	3,642,239	21,057,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	528,684	528,684
計	17,020,769	394,257	17,415,027	4,170,924	21,585,951
セグメント利益	1,257,804	162,395	1,420,199	△22,485	1,397,714

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,420,199
「その他」の区分の利益	△22,485
セグメント間取引消去	4,839
全社費用(注)	△535,194
四半期連結損益計算書の営業利益	867,359

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。